

平成30年度

シラバス

6年次

医療行動科学9



日本大学松戸歯学部

平成30年度 6年次前期 医療行動科学9 シラバス

1. **実施時期**：平成30年4月7日～6月30日

2. **一般目標(GIO)**

歯科医学に関する研究マインドの育成を図るために歯科医学情報の収集分析ができる。

3. **行動目標(SBOs)**

- 1) 歯科医学情報に関する臨床上の問題点を説明できる。
- 2) 抽出した臨床的問題点について分析を加え、適切なプレゼンテーションができる。

4. **講義実施要項**

- 1) 実施場所：400教室
- 2) 講義日時：日程表（次頁）を参照
- 3) 講義内容
歯科医師国家試験の分析と解説

5. **平常試験①～③**

MCQ形式の試験とする。

歯科医師国家試験の改変問題又はオリジナル問題 42問

なお、平常試験の追試験は行わない。

6. **再試験**

MCQ形式の試験とする。

歯科医師国家試験の改変問題又はオリジナル問題 42問

7. **評価**

平常試験①②③の平均正答率が70%以上を合格基準とする。合格基準に達しなかった者に対し再試験を行う。再試験の正答率が70%以上の者を合格者とする。平常試験結果を合格判定に加味できる。

平成30年度 医療行動科学9 日程表

出席確認 8:35~8:40

月日	曜	講義(試験)時間	コース	オーガナイザー	担当講座・分野	講義担当者	
4月7日	土	8:40~9:30	メディカルプレゼンテーション①	岩井啓寿	保存修復学	岩井啓寿	
		9:40~10:30		下坂典立	歯科麻酔学	下坂典立	
		10:40~11:30		五関たけみ	歯科矯正学	五関たけみ	
		11:40~12:30		木本統	有床義歯補綴学	中田浩史	
4月14日	土	8:40~9:30		神尾直人	歯内療法学	神尾直人	
		9:40~10:30		山本泰	口腔外科学	山本泰	
		10:40~11:30		岡本京	小児歯科学	岡本京	
		11:40~12:30		渚上真奈	口腔健康科学歯科臨床検査医学分野	渚上真奈	
病理学	宇都宮忠彦						
放射線学	川島雄介						
4月21日	土	8:40~9:30		飯島守雄	有床義歯補綴学	石井智浩	
		9:40~10:30		田中孝明	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	田中孝明	
		10:40~11:30		村上洋	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	井下田繁子	
		11:40~12:30		高井英樹	歯周治療学	高井英樹	
5月1日	火	17:00~18:30		医療行動科学9 平常試験①	6年次教育主任		
5月2日	水	8:40~9:30		メディカルプレゼンテーション②	岩井啓寿	保存修復学	岩井啓寿
		9:40~10:30	五関たけみ		歯科矯正学	五関たけみ	
		10:40~11:30	下坂典立		歯科麻酔学	鈴木正敏	
		11:40~12:30	木本統		有床義歯補綴学	矢崎貴啓	
5月12日	土	8:40~9:30	神尾直人		歯内療法学	神尾直人	
		9:40~10:30	山本泰		口腔外科学	山本泰	
		10:40~11:30	岡本京		小児歯科学	岡本京	
		11:40~12:30	渚上真奈		口腔健康科学歯科臨床検査医学分野	渚上真奈	
病理学	宇都宮忠彦						
放射線学	川島雄介						
5月19日	土	8:40~9:30	飯島守雄		有床義歯補綴学	伊藤誠康	
		9:40~10:30	田中孝明		クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	田中孝明	
		10:40~11:30	小見山道		口腔健康科学顎口腔機能治療学分野	飯田崇	
		11:40~12:30	高井英樹		歯周治療学	高井英樹	
5月25日	金	17:00~18:30	医療行動科学9 平常試験②		6年次教育主任		
6月2日	土	8:40~9:30	メディカルプレゼンテーション③		岩井啓寿	保存修復学	岩井啓寿
		9:40~10:30		五関たけみ	障害者歯科学	梅澤幸司	
		10:40~11:30		下坂典立	歯科麻酔学	下坂典立	
		11:40~12:30		木本統	有床義歯補綴学	木本統	
6月16日	土	8:40~9:30		青木暁宣	顎顔面外科学	枝卓志	
		9:40~10:30		神尾直人	歯内療法学	神尾直人	
		10:40~11:30		岡本京	小児歯科学	岡本京	
		11:40~12:30		渚上真奈	口腔健康科学歯科臨床検査医学分野	渚上真奈	
病理学	宇都宮忠彦						
放射線学	川島雄介						
6月19日	火	8:40~9:30		青木暁宣	顎顔面外科学	枝卓志	
		9:40~10:30		田中孝明	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	田中孝明	
		10:40~11:30		村上洋	クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学	井下田繁子	
		11:40~12:30		高井英樹	歯周治療学	高井英樹	
6月21日	木	17:00~18:30		医療行動科学9 平常試験③	6年次教育主任		
6月30日	土	12:30~14:00		医療行動科学9 再試験	6年次教育主任		

講義日	時限	国試出題基準
04月07日	1時限	各論-Ⅱ-1-ア-c

担当者 岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション①（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域）
- ・準備学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月07日	2時限	各論-Ⅲ-4-セ-b

担当者 下坂 典立

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯科麻酔学①：第111回歯科医師国試 B-44 問題）

授業の一般目標： 歯科麻酔学領域、特に有病者の全身管理における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：第111回歯科医師国家試験臨床実地問題（歯科麻酔学領域：B-44）と平成29年度に行われた模試の臨床実地問題（歯科麻酔学領域）を解く。
- ・準備学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月07日	3時限	各論-I-7-エ

担当者 五関 たけみ

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯科矯正学①）

授業の一般目標： 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：治療計画の立案に必要なデータの分析について
- ・準備学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
04月07日	4時限	各論-IV-5-イ-e

担当者 中田 浩史

テーマ： メディカルプレゼンテーション（全部床義歯学①）

授業の一般目標： 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：歯科医師国家試験 臨床実地問題 過去問
- ・準備学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
04月14日	1時限	各論-Ⅱ-2-ア-b

担当者 神尾 直人

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯内療法学①）

授業の一般目標： 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

105-110回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題
1時間

講義日	時限	国試出題基準
04月14日	2時限	各論-Ⅲ-1-オ-d

担当者 山本 泰

テーマ： メディカルプレゼンテーション(口腔外科学①)

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：第105-111回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成29年度に行われた模試の臨床実地問題（口腔外科学領域）を解く。
準備学習時間：60分

講義日 時限 国試出題基準
04月14日 3時限 各論-Ⅱ-1-エ-a

担当者 岡本 京

テーマ： メディカルプレゼンテーション（小児歯科学①）

授業の一般目標： 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：第105-111回歯科医師国家試験臨床実地問題(小児歯科学領域)を解く。
- ・準備学修時間： 60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
04月14日 4時限 総論-VI-2-コ-a 各論-Ⅲ-4-サ 総論-VI-3-ア-f

担当者 湊上 真奈、宇都宮 忠彦、川島 雄介

テーマ： メディカルプレゼンテーション（臨床検査医学・病理学・放射線学）①

授業の一般目標： 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 2) 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 4) 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 5) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 6) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 7) 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 8) 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 9) 与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。
準備学修時間40分

講義日	時限	国試出題基準
04月21日	1時限	各論-IV-2-エ 各論-IV-2-ウ

担当者 石井 智浩

テーマ： メディカルプレゼンテーション（局部床義歯学②）

授業の一般目標： 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

第111回歯科医師国家試験

講義日	時限	国試出題基準
04月21日	2時限	総論-VII-2-ア-a 総論-VII-2-ア-d

担当者 田中 孝明

テーマ： メディカルプレゼンテーション（クラウンブリッジ補綴学①）

授業の一般目標： クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：111回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成29年度に行われた模試の問題（臨床実地問題クラウンブリッジ領域）を解く。
準備学習時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
04月21日 3時限 各論-IV-6-ア-a 各論-IV-6-イ-h

担当者 井下田 繁子

テーマ： メディカルプレゼンテーション（口腔インプラント学①）

授業の一般目標： 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、収集した臨床的問題点に分析を加え、総括ができる。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔インプラント治療に関する臨床上的の問題点を抽出できる。
- 2) 口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切な総括ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・ 準備学修項目： 歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔インプラント領域）を解く。
- ・ 準備学修時間： 30分

=====

講義日 時限 国試出題基準
04月21日 4時限 各論-II-3-ウ-d

担当者 高井 英樹

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯周治療学①）

授業の一般目標： 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目： 110回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域と平成28年度に行われた模試の問題（臨床実地問題歯周治療学領域）を解く。
準備学習時間： 60分

講義日 時限
05月01日 2時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験①

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、国試過去問集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月02日	1時限	各論-Ⅱ-1-ウ-b

担当者 岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション②（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域）
- ・準備学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
05月02日	2時限	各論-I-7-エ

担当者 五関 たけみ

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯科矯正学②）

授業の一般目標： 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：①治療計画の立案に必要なデータの分析について
- ・準備学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月02日	3時限	各論-III-4-セ-b

担当者 下坂 典立

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯科麻酔学②）：第111回歯科医師国試 A-80 問題）

授業の一般目標： 歯科麻酔学領域、特に有病者の全身管理における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：第111回歯科医師国家試験臨床実地問題（歯科麻酔学領域：A-80）と平成29年度に行われた模試の臨床実地問題（歯科麻酔学領域）を解く。
- ・準備学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
05月02日 4時限 各論-IV-5-イ-e

担当者 木本 統、矢崎 貴啓

テーマ： メディカルプレゼンテーション（全部床義歯学②）

授業の一般目標： 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目： 歯科医師国家試験 臨床実地問題 過去問
- ・準備学修時間： 60 分

講義日 時限 国試出題基準
05月12日 1時限 各論-II-2-イ-c

担当者 神尾 直人

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯内療法学②）

授業の一般目標： 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

105-110回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題
1時間

講義日	時限	国試出題基準
05月12日	2時限	各論-I-1-A-b

担当者 山本 泰

テーマ： メディカルプレゼンテーション(口腔外科学②)

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：第105-111回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成29年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科学領域)を解く。
準備学習時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
05月12日	3時限	各論-I-4-U

担当者 岡本 京

テーマ： メディカルプレゼンテーション(小児歯科学②)

授業の一般目標： 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：第105-111回歯科医師国家試験臨床実地問題(小児歯科学領域)を解く。
- ・準備学修時間： 60分

講義日	時限	国試出題基準
05月12日	4時限	総論-VI-2-コ-a 各論-III-4-サ 総論-VI-3-ア-f

担当者 湖上 真奈、宇都宮 忠彦、川島 雄介

テーマ： メディカルプレゼンテーション（臨床検査医学・病理学・放射線学）②

授業の一般目標： 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 2) 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 4) 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 5) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 6) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 7) 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 8) 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 9) 与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。
準備学修時間40分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月19日	1時限	総論-VII-2-ア-d

担当者 伊藤 誠康

テーマ： メディカルプレゼンテーション（局部床義歯学②）

授業の一般目標： 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

第111回歯科医師国家試験

講義日	時限	国試出題基準
05月19日	2時限	総論-VII-2-ア-a 総論-VII-2-ア-d

担当者 田中 孝明

テーマ： メディカルプレゼンテーション（クラウンブリッジ補綴学②）

授業の一般目標： クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：111回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成29年度に行われた模試の問題（臨床実地問題クラウンブリッジ領域）を解く。
準備学習時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月19日	3時限	各論-IV-1-カ

担当者 飯田 崇

テーマ： メディカルプレゼンテーション（顎口腔機能治療学①）

授業の一般目標： 顎口腔機能治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：顎口腔機能治療学領域における第111回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業
準備学習時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
05月19日	4時限	各論-Ⅱ-3-ウ-d

担当者 高井 英樹

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯周治療学②）

授業の一般目標： 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：109回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域と平成28年度に行われた模試の問題（臨床実地問題歯周治療学領域）を解く。
準備学習時間：60分

講義日 時限
05月25日 2時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験②

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、国試過去問集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

講義日 時限 国試出題基準
06月02日 1時限 各論-II-1-ウ-c

担当者 岩井 啓寿

テーマ： メディカルプレゼンテーション③（保存修復学）

授業の一般目標： 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域）
- ・準備学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準
06月02日 2時限 必修-1 2-イ-a 各論-V-6-ア-a 各論-V-6-ア-b 各論-V-6-イ 各論-V-7-ア-a 各論-V-7-ア-b 各論-V-7-ウ 各論-V-8-イ

担当者 梅澤 幸司

テーマ： メディカルプレゼンテーション（障害者歯科学①）

授業の一般目標： 障害者歯科学領域における研究マインド育成を図るために歯科医学情報の収集と分析を行う。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた障害者歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 2) 障害者歯科学領域における臨床症例の問題点について、適切な治療方針を立案できる。
- 3) 与えられた障害者歯科学領域における臨床症例の分析結果を理解できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目： 1) 行動調整 2) 歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群 3) 摂食嚥下障害 4) 精神および行動の障害
- ・準備学修時間： 60分

講義日 時限 国試出題基準
06月02日 3時限 各論-Ⅲ-4-セ-b

担当者 下坂 典立

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯科麻酔学③：第111回歯科医師国試 D-67 問題）

授業の一般目標： 歯科麻酔学領域、特に有病者の全身管理における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯科麻酔学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

・準備学修項目：第111回歯科医師国家試験臨床実地問題（歯科麻酔学領域：D-67）と平成29年度に行われた模試の臨床実地問題（歯科麻酔学領域）を解く。

・準備学修時間：30 分

=====

講義日 時限 国試出題基準
06月02日 4時限 各論-Ⅳ-5-イ-c

担当者 木本 統

テーマ： メディカルプレゼンテーション（全部床義歯学③）

授業の一般目標： 歯科医学に関する研究マインドの育成を図るために歯科医学情報の収集分析ができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。
- 2) 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。
- 3) 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域過去問を自学自習する。

準備学習時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
06月16日	1時限	各論-Ⅲ-2-ア-a

担当者 枝 卓志

テーマ： メディカルプレゼンテーション(顎顔面外科学①)

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：第111回歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔外科学領域）と平成29年度に行われた模試の臨床実地問題（口腔外科領域）を解く。
準備学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月16日	2時限	各論-Ⅱ-2-イ-d

担当者 神尾 直人

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯内療法学③）

授業の一般目標： 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

105-110回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題
1時間

講義日 時限 国試出題基準
06月16日 3時限 各論-I-5-イ-b 各論-I-5-イ-a 各論-I-5-イ-c

担当者 岡本 京

テーマ： メディカルプレゼンテーション（小児歯科学③）

授業の一般目標： 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：第105-111回歯科医師国家試験臨床実地問題(小児歯科学領域)を解く。
- ・準備学修時間： 60分

=====

講義日 時限 国試出題基準
06月16日 4時限 総論-VI-2-コ-a 各論-III-4-サ 総論-VI-3-ア-f

担当者 瀧上 真奈、宇都宮 忠彦、川島 雄介

テーマ： メディカルプレゼンテーション（臨床検査医学・病理学・放射線学）③

授業の一般目標： 放射線・臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 2) 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 4) 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 5) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 6) 与えられた臨床検査領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。
- 7) 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。
- 8) 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。
- 9) 与えられた病理診断領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。
準備学修時間40分

講義日	時限	国試出題基準
06月19日	1時限	各論-III-1-オ-n

担当者 枝 卓志

テーマ： メディカルプレゼンテーション(顎顔面外科学②)

授業の一般目標： 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：第111回歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔外科学領域）と平成29年度に行われた模試の臨床実地問題（口腔外科領域）を解く。
準備学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月19日	2時限	総論-VII-2-ア-a 総論-VII-2-ア-d

担当者 田中 孝明

テーマ： メディカルプレゼンテーション（クラウンブリッジ補綴学③）

授業の一般目標： クラウンブリッジ領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。
- 2) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられたクラウンブリッジ領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目：111回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域と平成29年度に行われた模試の問題（臨床実地問題クラウンブリッジ領域）を解く。
準備学習時間：30分

講義日 時限 国試出題基準
06月19日 3時限 各論-IV-6-イ-d 各論-IV-6-イ-a

担当者 井下田 繁子

テーマ： メディカルプレゼンテーション（口腔インプラント学②）

授業の一般目標： 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、収集した臨床的問題点に分析を加え総括ができる。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔インプラント治療に関する臨床上的の問題点を抽出できる。
- 2) 口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切な総括ができる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・ 準備学修項目： 歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔インプラント領域）を解く。
- ・ 準備学修時間： 30分

=====

講義日 時限 国試出題基準
06月19日 4時限 各論-II-3-ウ-d

担当者 高井 英樹

テーマ： メディカルプレゼンテーション（歯周治療学③）

授業の一般目標： 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。
- 2) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。
- 3) 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学習項目： 108回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域と平成28年度に行われた模試の問題（臨床実地問題歯周治療学領域）を解く。
準備学習時間： 60分

講義日 時限
06月21日 2時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験③

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート、配布資料、教科書、国家試験過去問集等で復習
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること

=====

講義日 時限
06月30日 2時限

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 再試験

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：講義ノート、配布資料、教科書、国試過去問集等
- ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること